

# 知事記者会見の概要

日 時：令和7年9月12日（金） 14:00～14:19

場 所：502会議室

出席記者：12名、テレビカメラ4台

## 1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、知事から1件の発表があった。

その後、フリー質問があり、知事が答えて閉会した。

## 2 質疑応答の項目

### 発表事項

- (1) 令和7年度9月補正予算案の概要について

### フリー質問

- (1) 発表事項に関連して

<幹事社：毎日・産経・YBC>

## ☆発表事項

### 知事

はい。それでは早速、「令和 7 年度 9 月補正予算案の概要」について、御説明申し上げます。皆さまのお手元に配布してある資料「令和 7 年度 9 月補正予算案の概要」を御覧ください。

一般会計の 9 月補正予算額は、68 億 2,300 万円であり、この結果、9 月補正後の累計予算額は、6,848 億 9,700 万円となります。

今回の補正予算は、山形新幹線の長期にわたる大規模な運休に伴い影響を受けた観光業への支援のほか、人口減少対策の強化や県民の命と暮らしを守る安全・安心の確保など、更なる取組みを展開し、「やまがた“みらい共創” 予算」を拡充するとともに、本県が直面する様々な課題に対応するものであります。

それでは、9 月補正予算案に計上した主な事業について、順次御説明申し上げます。

まず、「1 『やまがた“みらい共創”予算』の拡充」のうち、【山形新幹線の長期にわたる大規模な運休に伴い影響を受けた観光業への支援】であります。山形新幹線は、本県と首都圏とを結ぶ県民生活やビジネス、そして観光にとって欠かせない重要な社会基盤であります。その運休は県民生活や経済活動などに大きな影響をもたらしました。とりわけ今回の運休は、さくらんぼ観光の時期と重なったうえ、1 か月半にわたって続きましたので、運休発生以降、宿泊施設では多くのキャンセルが発生し、予約状況も鈍化するなど、観光業にも甚大な影響が生じました。

このような状況を踏まえ、秋以降の本県への宿泊需要を喚起するため、県内の宿泊施設を対象とする割引クーポンの発行を通じた観光誘客キャンペーンを展開するものであります。

次に、【人口減少対策の強化】としまして、1 つ目ですが、東北公益文科大学の令和 8 年 4 月の公立化に向けて、法定協議会および評価委員会の設置等に要する経費を計上し、準備を着実に進めてまいります。

2 つ目ですが、本県アンテナショップの機能強化を図るため、現店舗改修によるリニューアルまたは移転を含めて検討しているところですが、いずれかの判断を行った際、速やかに対応できるようにするため、設計経費および移転に要する初期経費を計上するものであります。

3 つ目ですが、海外との交流人口や関係人口を拡大していくためには、本県からも積極的に海外へ赴き、相互に交流を深めることが重要であります。このため、インバウンドチャーターの回送便を活用して旅行商品を造成する県内旅行会社に対し、企画催行に必要となる航空機借上料の一部を支援することで、旅行商品の販売価格を訴求力のあるものとし、県民のアウトバウンドを促進してまいります。

4 つ目ですが、モンテディオ山形の新スタジアムにつきましては、民間事業者による建設が計画されているところですが、新たなにぎわいが創出され、若者の県内定着や交流人口の拡大が期待されますので、新スタジアム建設に対し、天童市と共同で支援を行うものであり

ます。

次に、【県民の命と暮らしを守る安全・安心の確保】としまして、まずは、「クマ等の出没対策の強化」であります。

県内における今年のクマの目撃件数は、統計を取り始めた平成 15 年以降、年間として既に過去最多となっております。そのうち市街地での目撃件数は 8 月末時点で 110 件と、令和元年以降、8 月時点では最多となっております。また、人身被害も 5 件発生している状況にあり、クマの出没対策は、まさに喫緊の課題であります。

このような状況を踏まえ、1 つ目ですが、市街地におけるクマ出没の抑制に効果的な河川の藪刈払いに緊急的に取り組みますとともに、2 つ目ですが、「鳥獣保護管理法」の一部改正により、本年 9 月から、人の日常生活圏に出没したクマ等の緊急銃猟の運用が開始されたことを受け、市町村が取り組む資材購入や訓練実施等への支援を行いますほか、3 つ目ですが、山形・庄内両空港におけるクマ侵入防止のため、有刺鉄線の更新および監視カメラの設置などを行います。

続きまして、「医師偏在の是正および医療提供体制の充実」であります。

4 つ目と 5 つ目ですが、医師偏在の是正および地域の医療提供体制の確保を図るため、重点医師偏在対策支援区域において、承継または開業する診療所を支援するほか、診療所の承継は全県的な課題でありますので、重点医師偏在対策支援区域以外においても、承継を行う診療所を支援いたします。

続きまして、「2 その他諸課題への対応等」としまして、1 つ目と 2 つ目ですが、国庫補助基準額の改定等に伴い、放課後児童クラブの運営費等への支援や医療機関の施設・設備整備への支援を拡充いたします。

3 つ目ですが、国庫事業の追加要望を踏まえ、地域農業の維持・発展に取り組む担い手に対する農業用機械や施設の導入等への支援を追加するとともに、4 つ目ですが、農業経営の拡大や生産の効率化に向けた農業用施設の整備や機械導入など、農業者の前向きな投資を支援するため、低金利で貸付けする「農業近代化資金」の融資枠を拡大いたします。

5 つ目ですが、国庫の内示を踏まえ、畑作物の産地づくりに向けた体制構築への支援や、畑地化した農地が土地改良区の管理対象区域から除外される場合に、農業者が土地改良区に支払う決済金への支援を追加するとともに、6 つ目ですが、電気料金高騰の影響を受ける農業水利施設の省エネ対策に取り組む土地改良区に対する支援を追加いたします。

7 つ目ですが、新たに排水処理工事が必要になるなど、地盤改良工事の追加に伴う県立寒河江工業高校の新グラウンド整備工事費を増額するとともに、8 つ目ですが、「宅地造成及び特定盛土等規正法」による規制の開始に伴い、復旧工事で発生した残土の処分・運搬経費が掛かり増しするため、県立置賜農業高校敷地内の地すべり復旧工事費を増額するほか、9 つ目ですが、山形駅西口地区における地域熱料金の改定および霞城セントラルの電源切り替えに伴い、関連する県立施設等の光熱費を増額いたします。

その次ですが、本年 6 月からの高温・少雨による最上川の河川流量の減少に伴う酒田工業用水道への塩水の混入を受け、来年度以降の塩水遡上に備えるため、企業局において、現在の仮設取水口より更に上流からの仮設取水の可否など応急的な対応について調査検討を行うための経費を計上するものであります。

次に、2枚目の「3 社会資本整備の着実な推進」としまして、「(1) 土木公共事業」、「(2) 耕地公共事業」および「(3) 国直轄事業費負担金」の増額につきましては、国庫の内示等を受けて所要の経費を追加するものであります。また、「(4) 災害復旧事業の増額」につきましては、令和6年7月の大雨により被災した河川や農地、農業用施設等の災害復旧を市町村から受託し、早期の復旧を図る等のものであります。

以上が令和7年度9月補正予算案の概要であります。

☆ フリー質問

記者

山形新聞の稲村です。よろしくお願いします。

改めてになりますが、今回の補正予算で最も重点を置いたこととですね、予算の考え方について知事の思いを改めてお聞きできればと思います。

知事

はい。9月補正予算で特に意を用いたものということになろうかと思いますが、今回の9月補正予算に盛り込ませていただいた事業はいずれも重要な取組みではありますが、その中で特に申し上げるとしますと、やはり山形新幹線の長期に渡る大規模な運休に伴って影響を受けた観光業への支援と、それから本当に今、大変、クマ出没ということで、過去最多となっております。そういったことを考えてのクマ出没対策、この2つは特に大きな点になろうかと思っております。

記者

ありがとうございます。もう1点、具体的に、項目でなんですけれども、モンテディオ山形の新スタジアム建設についてお伺いできればと思います。

非常に、サポーター、ファンの皆さんの悲願である施設、スタジアムだと思いますが、これがいよいよ一步を踏み出すということで、知事の所感をですね、スタジアムへの期待も含めてお聞きできればと思います。

知事

そうですね、本当にスポーツによって大変元気と活力を多くの県民がもらっているというふうに思っております。また、たくさんの観客ですかね、応援者が集うことでいろいろと地

域活性化にも繋がるというふうに思っているところです。

そこで、民間の事業ではあるんですけども、政府の「新しい地方経済・生活環境創生交付金」、通称「第2世代交付金」というのがあるんですけども、それを活用して民間事業者によるモンテディオ山形の新スタジアム建設事業に対して、天童市と山形県が支援を行うというものであります。それと加えて、新スタジアム建設支援を目的とした企業版ふるさと納税の受入れも行いうものであります。

そういったことで、できる限りの支援を行っていきたいというふうに思っております。

記者

NHKの内藤と申します。よろしくお願いします。

補正予算で重点を置いたポイントの1つとしてクマ出没対策というのを挙げられましたけれども、今この時期にですね、クマ出没対策の強化を進められるタイミングと言いますか、意義と言いますか、改めてそこをもう少し教えてください。

知事

はい、わかりました。まず、クマの目撃件数が過去最多となっております。クマはですね、河川の藪に身を隠しながら移動すると。そして市街地に出没している事例が複数確認されております。対象となる県管理河川において、帯状に藪の刈払いを行うことでクマの移動を抑制するという効果があると思っております。

市町村や地域の皆様からも御要望をいただいております。とにかく河川の藪や支障木伐採を早急に進めてほしいという要望内容であります。本当にひとたびクマが出ますと、人身被害の可能性が高まりますし、学校の休校であったり、施設への立ち入り制限といったことが起きて、県民生活に大きな影響が及ぶわけであります。

今は本当に、秋になっております。クマの餌となるブナの実がですね、大凶作だと聞いております。出没が増加すると見込まれますので、そういった季節に向けて緊急対策として対応を進めていくというものであります。

記者

河北新報の八木と申します。

今回、お伺いしたいのは、アンテナショップの予算も出てきたと思うんですけども、アンテナショップということで、リニューアルするのか移転するのか両方を考えながら進めていくものだと思うんですけども、今までのアンテナショップよりもこういうふうに、この予算を活用することでこういうアンテナショップになっていきたい、みたいな、そういう意気込みみたいなものがございましたらお伺いしたいです。

知事

はい。そうですね、現在のアンテナショップ「おいしい山形プラザ」ですけども、東京・銀座に開店してから17年目に入りました。物販・飲食の業績は堅調に推移をしておりますけれども、人口減少など社会環境が変化する中、単に物販・飲食だけではなくて、関係人口の拡大も見据え、移住、定住、県内回帰なども含めた本県の魅力を総合的に発信する拠点としての機能強化が必要になるというふうに捉えているところです。

リニューアルするにしても、移転するにしても、やはりそういった大事なことをですね、盛り込んで強化していきたいというふうに思っております。